

システム特長 (映像)



映像見守りシステム

病室のカメラでとらえた患者 (入所者) さんの映像を解析。起き上がり、離床を検知してお知らせします。

▶P.393 参照

起き上がり

① 患者さんが、ベッドで仰向け、または横向きに寝ています。



② 上半身を起こします。



③ カメラが起き上りを検知し、ナースコール親機、スマートフォンまたはハンディナースを呼び出します。



ナースコール親機



液晶表示灯



スマートフォン

離床・起き上がり離床

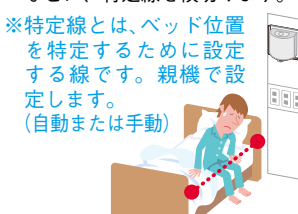
① 患者さんが、ベッドで仰向け、または横向きに寝ています。



② 上半身を起こします。
※起き上がり離床のみ



③ 離床しようと、ベッドから脚を出して腰を掛けたとき (端座位) などに、特定線を横切ります。



※特定線とは、ベッド位置を特定するために設定する線です。親機で設定します。(自動または手動)



ナースコール親機



液晶表示灯



スマートフォン

*当社調べ

夜間の病室(居室)での起き上がり、離床検知精度が向上



超低照度対応カメラを採用し、Olx環境下でも撮像可能です。

プレ録画で転倒・転落時の状況を確認



検知30秒前からの録画を確認可能。打撲箇所などを特定できます。

※プレ録画の時間は、5分、3分、1分、30秒から選べます。

ベッド位置自動検知機能を搭載



ベッド移動のたびに設定しなおす手間を軽減します。

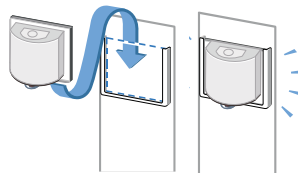
カメラ本体で見守りモードの停止/再開



停止表示灯

停止時は停止表示灯が点灯し、戻し忘れを防止します。

見守り用カメラは病室(居室)間で共有可能



IPカメラ取付パネルセットを使用します。

▶P.393参照

※共有は1台の制御装置の配下にある病室(居室)間に限ります。

※2017年12月発売のVi-nurse ver.4.00以降に対応。すでに納入済みVi-nurse (ver.4.00以前) の場合で、見守り、離床検知以外の機能を使用するには、システム全体をver.4.00以降にバージョンアップが必要です。(有償)

カメラドアホン対応

病棟入口などに設置したカメラ付玄関子機との通話、電気錠・オートドアの解錠操作ができます。



親機やスマートフォンでは映像確認もできます。病棟入口のセキュリティ強化につながります。

▶P.344、P.352 参照

*当社調べ



IPカメラ映像の確認

病室のベッドや共用部に設置したIPカメラの映像が確認できます。

▶P.344、P.352 参照



1 ナースコールシステム

2 Vi-nurse

3 NFXシステム

4 ハンディナース 4個別式タイプ

5 センザ! マルチタッチ

6 ハンディナースシステム

7 接続システム

8 ナースコール

9 FOCUS

10 緊急通報装置

11 ノンモータリゼーション

12 保守メンテナンス